

各 位

会社名 ウライ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 裏井 紳 介
 (コード番号 2658)
 問合せ先責任者 取締役総務統括本部長 稲葉 茂
 (TEL 075-361-0330)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社において下記のとおり特別損失が発生いたしますので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に発表いたしました、平成23年3月期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の第2四半期累計期間及び通期の業績予想（連結・個別）を下記の通り修正いたします。

記

I. 特別損失の計上

当社は、当社の取引先である株式会社華裳に対する債権が取立不能になった件（平成22年8月31日付け「債権の取立不能（又は取立遅延）のおそれに関するお知らせ」にて公表）に対し、平成23年3月期第2四半期連結累計期間に株式会社華裳に対する貸倒引当金繰入額として下記債権の合計226,624千円を特別損失に計上する予定であります。

| 債権の種類 | 金額（純資産に対する割合） | |
|-------|---------------|--------|
| 売掛債権 | 111,510千円 | (2.6%) |
| 手形債権 | 115,113千円 | (2.6%) |
| 合 計 | 226,624千円 | (5.2%) |

なお、売掛債権が当初公表した金額より48,068千円増加しているのは、販売委託商品について株式会社華裳破産管財人より仕入と認識している旨の通知を受けたことによります。

※ 最近連結会計年度の末日（平成22年3月31日現在）の純資産額は4,375,370千円であります。

II. 平成23年3月期の業績予想数値の修正について

上記I. の状況並びに最近の業績の動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を次のとおり修正いたします。

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|------------------------------------|-------|-------|-------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 5,380 | △ 10 | △ 30 | △ 30 | - - |
| 今回修正予想 (B) | 5,431 | △ 26 | △ 41 | △ 284 | △ 25.92 |
| 増減額 (B-A) | 51 | △ 16 | △ 11 | △ 254 | - |
| 増減率 (%) | 0.9 | - | - | - | - |
| (ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期) | 5,307 | △ 254 | △ 266 | △ 241 | △ 21.95 |

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|--------------------------|--------|--------|--------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 11,100 | 120 | 80 | 70 | - - |
| 今回修正予想 (B) | 11,000 | 80 | 40 | △ 210 | △ 19.12 |
| 増減額 (B-A) | △ 100 | △ 40 | △ 40 | △ 280 | - |
| 増減率 (%) | △ 0.9 | △ 33.3 | △ 50.0 | - | - |
| (ご参考) 前期実績 (平成22年3月期) | 11,050 | △ 683 | △ 722 | △ 713 | △ 65.00 |

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|------------------------------------|-------|-------|-------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 5,200 | 0 | △ 20 | △ 30 | - - |
| 今回修正予想 (B) | 5,298 | △ 9 | △ 17 | △ 285 | △ 25.97 |
| 増減額 (B-A) | 98 | △ 9 | 3 | △ 255 | - |
| 増減率 (%) | 1.9 | - | - | - | - |
| (ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期) | 5,144 | △ 229 | △ 236 | △ 240 | △ 21.88 |

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|--------------------------|--------|--------|--------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 10,700 | 120 | 80 | 70 | - - |
| 今回修正予想 (B) | 10,700 | 90 | 60 | △ 210 | △ 19.12 |
| 増減額 (B-A) | 0 | △ 30 | △ 20 | △ 280 | - |
| 増減率 (%) | 0.0 | △ 25.0 | △ 25.0 | - | - |
| (ご参考) 前期実績 (平成22年3月期) | 10,699 | △ 652 | △ 680 | △ 712 | △ 64.91 |

修正の理由

1. 当第2四半期連結累計期間の業績予想の修正について

当第2四半期の経済情勢は、景気回復の兆しが一部で見られましたものの、急激な円高進行に加え、株式市況の低迷傾向等から先行きの不透明感は強まり、個人消費におきましても雇用情勢や所得環境の厳しさから消費者マインドが低水準で推移するなど、景気は依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、当期を初年度とする中期経営計画を策定し、事業部門間の取扱商品の相乗効果による販売の強化、消費者への商品提案を中心とした商品開発と原価率改善を目的に商品管理体制の見直し等を行うとともに、販売促進企画の提案や催事展開の効率化、固定費の削減など営業効率の改善に努めてまいりました。売上高につきましては、きもの事業が3,164百万円(前回予想比:66百万円の減少)、ジュエリー事業が1,150百万円(前回予想比:100百万円の増加)、ファッション事業が1,116百万円(前回予想比:16百万円の増加)となり、合計で5,431百万円(前回予想比:51百万円の増加)となる見込みであります。営業損益におきましては、販売費及び一般管理費の削減に努力しましたものの、貸倒引当金繰入率の増加に伴う貸倒引当金繰入額の増加もあり、26百万円(前回予想比:16百万円の減少)の営業損失となる見込みであり、経常損益におきましても41百万円(前回予想比:11百万円の減少)の経常損失となる見込みであります。四半期純損益におきましては、特別利益に貸倒引当金戻入額23百万円等、また特別損失に貸倒引当金繰入額として252百万円を計上したこともあり、四半期純損失は284百万円(前回予想比:254百万円の減少)となる見込みであります。

なお、個別の修正理由につきましては、連結子会社は2社であります。その修正に及ぼす影響は軽微であることから、連結業績予想の修正理由と同じであります。

2. 通期の業績予想の修正について

急激な円高進行や株式市況の低迷傾向は、経済への下振れ懸念として大きな影を落としており、また、雇用や所得環境の悪化による消費需要の低迷等も想定され、景気は引き続き厳しいものと思われまます。

このような状況下、当社の属する和装業界におきましても、引続き高額商品の需要低迷等厳しい市場情勢が想定されることから、販売コストの削減と組織・人員の見直しを行うことにより事業部間での相乗効果の発揮等事業効率の改善を進めるとともに、在庫リスクの軽減と債権リスクの分散等資産の圧縮と有利子負債の縮減に努め、業績の回復と経営基盤の安定に向けて鋭意努力してまいり所存でありますが、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成22年5月14日に公表いたしました通期業績予想を修正させていただくものであります。

修正した業績予想の製品分野別売上高は以下の通りです。

| 通期の連結売上高予想の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日) (金額の単位:百万円) | | | | |
|---|--------|--------|-------|--------|
| | 前回予想 | 今回予想 | 増減 | 増減率(%) |
| きもの事業 | 6,590 | 6,530 | △ 60 | △ 0.9 |
| ジュエリー事業 | 2,100 | 2,050 | △ 50 | △ 2.4 |
| ファッション事業 | 2,410 | 2,420 | 10 | 0.4 |
| 合計 | 11,100 | 11,000 | △ 100 | △ 0.9 |

なお、個別の修正理由につきましては、連結子会社は2社であります。その修正に及ぼす影響は軽微であることから、連結業績予想の修正理由と同じであります。

(注) 上記に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上